

新たな意欲で町につくしたい

中泊町善行・
功労者表彰式

公共の福祉の増進に貢献された人や町民の模範となるべき人を表彰する、町善行・功労者表彰式が、11月27日(木)パルナスで行われました。

表彰式には受賞者2団体と22人中、2団体と9人が参加し、小野町長から賞状と記念品が手渡されました。

受賞者を代表し、馬場百合子さんが「新たな意欲をもって町につくしていきたい」と謝辞を述べました。

■受賞者

- 町議会議員(15年以上)…角田廣(下前浜)、川山光則(新町2)、山田光春(小泊派立)
- 町教育委員(15年以上)…馬場百合子(派立上)
- 町スポーツ推進委員(20年以上)…坂田峰之(派立下)
- 町保健協力員(21年以上)…中山禮津(新町1)、山田久子(下前上)
- 町保健協力員(20年以上)…米塚テツ子(下豊岡)、葛西美奈子(福浦)、片山カツ子(竹田)、古川シズ子(尾別)、升田仁美(花丘町)、高山静枝(若葉町)、角田貴代栄(小泊派立)
- 福祉型ボランティア20年以上活動…めんだりカッチャの会
- 人命救助…伊藤芳忠(若葉町)、伊藤芳伸(若葉町)、柏崎貴人(下前浜)、下前漁業協同組合、柏崎智好(下前上)、角田司昭(下前上)、田中隆光(下前中)、鈴木芳彦(入舟)、成田一寿(浜町)



受賞者のみなさん

BBシスターズ会場盛り上げる

第31回年忘れ
名士かくし芸大会



長生きサンバを披露

くりへのコツなどを披露しました。

最後は、決め手くんダンスで県産品PRをしました。「べえ子ちゃん」鈴木代表の年齢を紹介すると、会場が「えーっ」と驚き、彼女たちの元気に大きな拍手をおくっていました。

陸奥新報社が主催する歳末チャリティー2014「第31回年忘れ名士かくし芸大会」が12月5日(金)弘前市民会館で開催されました。

昨年に続き、健康ダンス「べえ子ちゃん」の会員が「BBシスターズ」として、三村青森県知事と共にオープニングでダンスなどを披露し、大会を盛り上げました。

今回は、お馴染みの「長生きサンバ」で登場。県職員と一緒に短命県返上に取り組む一環として、健康づ



アブラタラバガニと毛ガニ

盛り上がりを見せました。また、目玉イベントとして、小泊漁協と活ハマクラブの協力を得て、11月に始まった刺し網漁で獲れた真ダラ、アブラタラバガニ、毛ガニをハマ値で提供しました。大特価の海の幸は、即完売という人気ぶりでした。



真ダラの解体ショー

今が旬の海の幸大特価

駅ナカにぎわい空間で収穫祭

11月23日(日)、駅ナカにぎわい空間で収穫祭が開催され、来場者たちは郷土芸能や面白い物を楽しめました。ステージイベントは、金多蔵人形劇、謎の美女軍団のスコップ三味線、健康ダンス「べえ子ちゃん」ショー、中里三味線会による演奏や踊り、夢幻天舞によるよさこい演舞が行われ、

漬物名人の手っこ紹介

駅舎漬物まつり

漬物が美味しくなる季節、津鉄応援直売会と町生活改善グループが、12月7日(日)津軽中里駅「駅ナカにぎわい空間」で駅舎漬物まつりを開催しました。大沢内駅舎ではじまったこのまつりは7回目となりました。

開会式では、主催する津鉄応援直売会と町生活改善グループを代表して、佐藤イネ子さんが「私たちは、この地域を少しでも元気づけたいとこのような活動をしている。今日もいろいろ催しを用意しました。最後まで楽しみ、交流しましょう」とあいさつしました。

漬物まつりでは、実演を通じて美味しい作り方



つきたてもちの振る舞い

を紹介していました。今回は、津鉄応援直売会の田中恵津子さんが「べったら漬け」作りを実演しました。いろいろな漬け方がある中、一番簡単な方法として、材料や手順などを紹介しました。来場者たちは、名人の技を学ぼうと聴き入っていました。説明後は3週間前に漬けたべったら漬けを試食、「ちょうど良い甘さだ。おいしいね」と感心していました。

また、会場では、もちつき大会ともちの振る舞いや漬物、野菜、けの汁、手づくりみそなどが販売され、地元やストープ列車の利用者などが楽しみました。



べったら漬けを紹介